



平成26年1月21日（火）一宮市立浅井中小学校にて 「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」の 「くすり教室：実験講座」を開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-Do）は、国民に「くすり」を安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にも「くすり」のことを知ってもらう講演会や体験実験を行っています。

一宮市立浅井中小学校 学校薬剤師の中原美奈子先生と一宮市立葉栗小学校 学校薬剤師の濱崎光哲先生のご尽力により、平成26年1月21日（火）、一宮市立浅井中小学校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」を下記の内容で開催しました。当日は、一宮市立浅井中小学校の山内一也教頭先生をはじめ、学校関係者のご協力により、小学生76名（6年生）が参加しました。講義と体験実験は、大変分かり易かったと大好評でした。

一宮市立浅井中小学校における「くすり教室」

日時：平成26年1月21日（火）9時45分～11時35分

場所：一宮市立浅井中小学校 体育館

内容

- ・「実験を始める前のお話し」：Q&A方式

くすりをどのように飲んだら良くきき、副作用を防ぐことができるか、名城大学薬学部の学部生がスライドを使ってわかりやすく説明するため、Q&A方式で小学生が答える参加型で行いました。たくさんの小学生が元気よく挙手し、大変にぎやかとなりました。

- ・「体験実験」

小学生は21グループ（1グループ4～6名）に分かれ、お話の内容をより理解できるように、NPO J-Doの鍋島俊隆理事長、野田幸裕副理事長を中心に、榊原幹夫会員、名城大学薬学部と愛知学院大学薬学部の学部生が補助しながら、体験実験を行いました。名城大学薬学部での臨床研修のため来日している米国南カリフォルニア大学薬学部の Duc Nguyen さんも参加し、日本での社会活動を体験しました。

<実験項目>

1. どうして「カプセル」になっているのだろう？
2. コップ1ぱいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？
3. 水がなくても飲めるくすりがあるのを知ってる？
4. 「ざやく」って何度で溶けるんだろう？
5. 胃でとけずに、腸でとけるくすりがあるのを知ってる？
6. くすりを「お茶」で飲むとどうなってしまうの？
7. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうなってしまうの？

制作：名城大学薬学部病態解析学 I
（吉島夕貴、毛利彰宏、野田幸裕）

監修：名城大学薬学部 地域医療
薬局学講座

NPO J-Do（鍋島俊隆）

